

Mizuho Daily Market Report

2023/3/24

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	130.97	130.85	▲0.59	▲2.89
EUR	1.0906	1.0831	▲0.0025	+0.0221
AUD	0.6736	0.6684	▲0.0001	+0.0028
SGD	1.3261	1.3257	▲0.0049	▲0.0212
CNY	6.8277	6.8232	▲0.0468	▲0.0748
MYR	4.4167	4.4177	▲0.0375	▲0.0853
THB	34.12	34.07	▲0.36	▲0.34
IDR	15356	15345	+0	▲35
PHP	54.33	54.31	▲0.22	▲0.59
INR	82.23	82.26	▲0.40	▲0.47

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.427%	▲0.7 bp	▲15.0 bp
日本(10年)	0.323%	▲0.5 bp	+0.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.195%	▲13.3 bp	▲9.5 bp
オーストラリア(5年)	3.031%	▲7.7 bp	+3.1 bp
シンガポール(5年)	2.766%	▲13.3 bp	▲17.4 bp
中国(5年)	2.670%	+0.4 bp	▲1.1 bp
マレーシア(5年)	3.494%	▲2.0 bp	▲3.4 bp
タイ(5年)	1.929%	▲4.8 bp	▲7.8 bp
インドネシア(5年)	6.489%	+0.0 bp	▲3.7 bp
フィリピン(5年)	5.934%	+10.3 bp	+1.5 bp
インド(5年)	7.206%	▲2.1 bp	▲4.3 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	32,105.25	+0.2%	▲0.4%
N225(日本)	27,419.61	▲0.2%	+1.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,207.14	+0.3%	+2.2%
ASX(オーストラリア)	4,090.90	▲0.8%	+1.0%
FTSE(シンガポール)	3,219.00	▲0.1%	+2.0%
SSEC(中国)	3,286.65	+0.6%	+1.9%
KLSE(マレーシア)	1,410.98	▲0.1%	+1.4%
SETI(タイ)	1,593.65	+0.5%	+2.5%
JKSE(インドネシア)	6,691.611	+0.0%	+1.9%
PSE(フィリピン)	6,536.36	▲0.2%	+2.1%
SENSEX(インド)	57,925.28	▲0.5%	+0.5%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	257.78	▲0.3%	+0.4%
金	1,993.40	+1.2%	+3.8%
原油(WTI)	69.96	▲1.3%	+2.4%
銅	9,033.00	+1.5%	+6.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	130.00	-	132.20
EUR/USD	1.0760	-	1.0880
AUD/USD	0.6640	-	0.6750
USD/SGD	1.3220	-	1.3340
USD/CNY	6.8000	-	6.8500
USD/MYR	4.4100	-	4.4400
USD/THB	34.01	-	34.48
USD/IDR	15290	-	15375
USD/PHP	54.20	-	54.60
USD/INR	82.00	-	82.50

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は131円台前半でオープン。FOMCの結果を受け、利上げ停止への思惑が強まる中、米金利低下の流れからドル円は上値を切り下げ130円台半ばまで下落。米金利低下が一服すると、多少ドルが買い戻されるも戻りは限定的となり、その後は特段材料もない中130円後半の狭いレンジで推移し、同水準で海外時間へ渡った。

アジア通貨はFOMCの結果を受けたドル売りの流れを受け全般に上昇。フィリピン中銀は0.25%の利上げを決定。事前の予想通りとなり、市場の反応は限定的。今後の政策決定については今後の消費者物価動向によるとした。

海外市場のドル円は下落。米州時間朝方に発表された米失業保険継続受給者数が予想を上回ったものの、米新規失業保険申請件数は予想を下回り、市場は一時ドル買いで反応し131円台半ばまで買い戻されるもその後は131円台前半まで反落。続いて発表された米2月新築住宅販売件数は前月比1.1%増で3か月連続の増加となり市場はドル買いで反応し小幅に上昇するもその後伸び悩み130円台後半まで反落。米州時間午後ドル売りが続き130円台半ばまで下落し、その後イエレン米財務長官の「正当化される場合は預金保護で追加措置の用意」との発言が一時好感を受け131円台前半まで急伸する場面も見られたが、前日の証言と一貫性を欠いている事から嫌気され、その再び後失速し、米金利低下と共に下落し130円台後半でクローズ。

【金利】

米債利回りはツイストスティープ化。米新規失業保険申請件数は予想比減少し、雇用環境の良化が連想される内容。米州時間日中ははやや材料に欠ける展開ながら前日のイエレン米財務長官による預金保護に消極的ともとれる発言が尾を引いた他、米地銀株価もやや軟調な動きを見せる中で短期ゾーン中心に金利低下。後半はイエレン氏から当局には預金保護で追加措置を講じる用意があるとの発言が出たこともありやや債券は売り戻されて終了。

【予想】

本日のドル円は上値重い推移を予想。イエレン米財務長官から預金保護についてコメントがあったものの、ドルの上値は重い状況が継続。金融システムへの懸念が払しょくされ無い環境下、リスク回避的な値動きが継続しドル円は上値重い展開が継続すると予想。

【本日の予定】

(日本) 流動性供給入札
(アジア) 2月 シンガポール CPI
(アジア) 2月 タイ 貿易収支
(アジア) 2月 中国 SWIFT グローバル支払 CNY
(アジア) フィリピン 金融政策会合
(アジア) 休場 インドネシア
(アジア) 台湾 金融政策会合
(欧州) 3月 ユーロ圏 消費者信頼感(速)
(欧州) EU首脳会議(ブリュッセル)
(欧州) 英 金融政策会合
(米国) 2月 シカゴ連銀全米活動指数
(米国) 2月 新築住宅販売件数
(米国) 3月 カガシティ連銀製造業活動
(米国) 4Q 経常収支(確)
(米国) TIPS入札(10Y)
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。